

# 国史跡中里貝塚 保存活用計画策定委員会 かわら版

第8号(令和元年3月発行)

中里貝塚の保存・活用・整備に向けた具体的な方向性を  
話し合う保存活用計画策定委員会の第11回会議を開催しました！

令和2年2月10日に北区飛鳥山博物館にて第11回「中里貝塚保存活用計画策定委員会（以下「委員会」という。）」を開催しました。今回が最後の委員会であるため、保存活用計画（案）の最終確認を行い、合わせて年末に実施したパブリックコメントと地元説明会の結果報告を行いました。

## 第11回委員会（令和2年2月10日）

### 議題

- (1)パブリックコメントの結果について
- (2)計画書の最終確認・検討について

### 報告

- (1)中里貝塚委員会だより（かわら版）の発行
- (2)地元説明会の報告

## 今後の動きについて

- ・次年度からは本計画の基本方針に基づき、具体的な整備内容を検討するため、『整備基本計画』の策定に取りかかります。
- ・次年度以降も地元の方々との情報共有や意見交換等を密に行い、事業を推進して行きます。



●第1～11回の概要は、北区飛鳥山博物館のホームページにて公開しています。

**中里貝塚とは**…国内最大規模の貝層を有する、縄文時代の“水産加工場”です。マガキとハマグリの干貝加工に伴い廃棄された貝殻が、最大4.5mの厚さで堆積し、貝類の剥き身処理に関わる遺構なども発見されている貴重な遺跡です。



## <保存活用計画とは>

国指定の文化財等について、保存活用の考え方を明確化し、必要な諸手続などを整理して、文化財等の確実な継承を図るために作成する計画です。

お問い合わせ（事務局）

北区飛鳥山博物館

TEL：03-3916-1133  
<http://www.city.kita.tokyo.jp/hakubutsukan/>



■本かわら版は、委員会で話し合われた内容等を昭和町地区自治会連合会管内の皆様にお知らせするため発行するものです。